

【令和4年度の事業報告書】

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで

特定非営利活動法人 子どもの心理療法支援会

I 事業の成果

引き続き、児童福祉領域の対象となる子どもと発達障害をもつ子どもが、心理療法が受けられるように、京都市の御池心理療法センターと大阪市の大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室、梅田東心理療法研究室ポモナと委託契約を結び、心理療法支援の充実に努めている。京都と大阪で子どものアセスメントや心理療法、および保護者・関係者へのコンサルテーションの資金面での支援を行っている。児童福祉領域の対象となる子どもに関しては世帯の所得に応じて1回3000円から5000円を、発達障害の子どもに関しては1回3000円を支援している。

1. 児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業について

今年度は児童福祉施設児童、在宅児童の合計23ケースについて、アセスメントおよび心理療法の支援が行われた。

① 児童福祉領域の対象となる子どもへのアセスメント支援

御池心理療法センターにおいて5ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて128回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室において1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて20回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナにおいては、1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて20回の支援が行われた。

② 児童福祉領域の対象となる子どもへの心理療法支援

御池心理療法センターにおいて、14ケースに対して、子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて795回の支援が行われた。大阪心理研究所・京橋心理相談室においては、1ケースに対して、子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて84回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナにおいては、1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて28回の支援が行われた。

2. 発達障害の子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業について

今年度は、31ケースについて発達相談サービスおよび心理療法の支援が行われた。

① 発達障害児へのアセスメントサービス(発達相談サービス)事業支援

御池心理療法センターにおいて、21ケースに対して合計264回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナにおいては、2ケースに対して合計26回の支援が行われた。

② 発達障害児の心理療法支援

御池心理療法センターにおいて、2ケースに対して、子どもの継続的な心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて101回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、5ケースに対して子どもの継続的な心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて264回の支援が行われた。

3. 養育者の心理相談・育児支援事業について

① キンダーカウンセラー派遣事業支援

昨年度に引き続き京都市内の1施設に対して、17回分の支援を行った。また、大阪府内の1施設に対して15回分の支援を行った。相談費用の半額を幼稚園が負担し、残りの半額を当NPOが支援している。

② 児童養護施設等へのコンサルテーション事業支援

今年度は梅田東心理療法研究室ポモナが行った養護施設でのコンサルテーションが2回実施された。その費用の半分を当NPOが支援している。

4. 精神分析的心理療法の研修・セミナーの企画・運営について

① 臨床セミナー事業

「京都精神分析・臨床セミナー」を企画し年6回開催した。今年度は66名の参加者があり、参加者アンケートでは毎回高い評価を得ている。またこのセミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の定める「定例型研修会」としても承認されている。「京都精神分析・臨床セミナー」の受講者に対して「基礎の基礎セミナー」も開講し、精神分析的心理療法の導入の機会を提供している(参加者15名)。

今年度よりオンラインでの参加も受け付け、ハイブリッド開催とした。

② 研修プログラム事業

「精神分析的心理療法研修プログラム」を通年で開催している。2023年4月開講の研修プログラムでは、全15コースを設け、延べ177名の専門家が研修を受けている。昨年に引き続き、2023年9月に海外の講師を招聘したオンライン研修(MBT-C)を専門会員の企画に賛同する形で主催し、30名が参加した。

③ 訓練コース事業

「観察と臨床基礎コース」は組織再編のため新規訓練生の受け入れが難しかったが、オープンセミナーを開催したことにより、非常に重要になり得る臨床スキルや能力が必要になる訓練であると再確認された。

子どもの心理療法支援会精神分析的心理療法士の養成を促進し、サポチル活動(特に心理療法支援事業)にコミットする人材を増やすことを目的に、凝集性の強い研修内容を提供することとなった。「観察と臨床基礎コース」は2名、「セラピスト養成コース」は1名の修了生を輩出した。「観察と臨床基礎コース」は現在12名の訓練生が「セラピスト養成コース」には6名の訓練生が在籍している。

2020年4月より、プログラムによっては新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催としている。また、2022年11月27日にオンラインによる乳児観察・観察と臨床基礎コース説明会を開催した。2023年5月28日にはセラピスト養成コースの修了論文発表会・修了式・説明会を、同年6月25日に観察と基礎コースオープンセミナーを、さらに同年9月24日に訓練コースシンポジウムを開催した。

※ 2012年度より開始した「子どもの精神分析的心理療法士」の資格認定制度について、現在21名の資格取得者を輩出している。

④ サポチル関東事業

関東地方でもサポチルの活動や子どもの精神分析的心理療法の訓練と実践の普及を目指し、本格的に事業が開始されている。

・関東「臨床セミナー事業」: 2022年10月～2023年3月までに3回(参加者68名)、2023年4月～9月までに3回(参加者は58名)開催した。新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催とした。

・関東「研修セミナー事業」:親面接ワークショップをオンラインで開催し、48名の参加があった。また、2023年4月開講のプログラムとして6コースを設け、合計11名の専門家が研修を受けている。

5.子どもの精神分析的心理療法に関する啓蒙・広報活動について

① 広報活動事業

会報(年1回発行。会員関係諸機関向け)、メールマガジン(月1回発行。正会員向け)、サポチル通信(年1回発行。会員向けニュースレター)を作成し発送した。

また、2018年7月より、ホームページ上でオンライン決済システムを導入し、寄付をクレジットカード決済できるようにした。発達相談サービスや寄附のチラシ、しおりを作成し、研修会等で配布している。ツイッターやフェイスブックでの情報発信も定期的におこなっている。

② 運営資金獲得事業

今年度の寄付件数は延べ158名で、寄付者数は89名であった。

③ 他団体との連携として、講演依頼を受けて企業や保育園などで3回講演を行った。また、活動の情報共有やこども食堂への心理士の派遣などを検討した。

6.精神分析的心理療法に関する研究活動について

研修プログラムのコースである「京都精神分析研究会」、サポチル関東の研修プログラム「サポチル関東研究会」では、精神分析に関する文献の研究、事例の検討会などを行い会員の研修や研究活動を支えている(参加費無料)。

II 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	支出額 (千円)
精神分析的 心理療法の研修・ セミナーの企画・ 運営事業	臨床セミナー事業 2022-23年度 京都精神分析・臨床セミナー	(A)6回/年度 (B)オンライン開催 (C)9人×6回	(D)心理療法の専門家及 び心理療法を学ぶ学生 (E)66人	3,428
	臨床セミナー事業 2022-23年度 基礎の基礎セミナー	(A)6回/年度 (B)オンライン開催 (C)1人×6回	(D)子どもの心理療法の 初学者 (E)15人	
	臨床セミナー事業 2022-23年度 子どもの精神分析的 心理療法セミナー	(A)4回/年度 (B)オンライン開催 (C)4人×4回	(D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)延べ97人	

	<p>研修プログラム事業 (研修プログラム・MBT-C研修)</p> <p>専門性の高い内容を学ぶための 小グループセミナーおよび研修会</p>	<p><研修プログラム> (A)2023年4月～ (B)御池心理療法センター/ 梅田/なんばオフィス/ 京橋心理相談室/オン ライン開催 (C)4人</p> <p><MBT-C研修> (A)2023年7月 (B)オンライン開催 (C)4人</p>	<p><研修プログラム> (D)心理療法の専門家及 び心理療法を学ぶ学生 (E)延べ131人</p> <p><MBT-C研修> (D)心理療法の専門家及 び心理療法を学ぶ学生 (E)27人</p>	6,014
	<p>訓練コース事業 (観察と臨床基礎コース、セ ラピスト養成コース)</p> <p>子どもと家族の心理療法実 践において実質的な貢献の できる人材育成</p>	<p><訓練コース> (A)2023年4月～ (B)御池心理療法センター/ 梅田/なんばオフィス/ オンライン開催 (C)3人</p> <p><乳児観察・観察と臨床基 礎コース説明会> (A)2022年11月27日 (B)オンライン開催 (C)3人</p> <p><セラピスト養成コース 修 了論文発表会・修了式・説 明会> (A)2023年5月28日 (B)オンライン開催 (C)3人</p> <p><観察と臨床基礎コースオー プンセミナー> (A)2023年6月25日 (B)オンライン開催 (C)3人</p> <p><訓練コースシンポジウム > (A)2022年6月25日 (B)オンライン開催 (C)3人</p>	<p><訓練コース> (D) 心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)18人</p> <p><乳児観察・観察と臨床基 礎コース説明会> (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)24人</p> <p><セラピスト養成コース 修了 論文発表会・修了式・説明会 > (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)20人</p> <p><観察と臨床基礎コース オープンセミナー> (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)18人</p> <p><訓練コースシンポジウム> (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)28人</p>	3,364

	<p>サポチル関東研修事業 (臨床セミナー・研修セミナー)</p> <p>関東地方で専門性の高い精神分析的心理療法を学ぶセミナー</p>	<p><臨床セミナー> (A)2023年4月～ (B)オンライン開催 (C)7人</p> <p><研修セミナー> (A)2023年4月～ (B)オンライン開催 (C)7人</p>	<p><臨床セミナー> (D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)68人</p> <p><研修セミナー> (D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)延べ48人</p>	4,138	
<p>◇児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業</p> <p>◆子どもに関わる専門家に対するコンサルテーションへの支援事業</p>	<p>心理療法支援事業</p>	<p>◇心理療法及びアセスメント面接にかかる料金補助</p> <p>◆関係者へのコンサルテーションにかかる料金補助</p>	<p>(A)2007年10月～継続中 (B) 御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室/梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス) (C) 17人</p>	<p>(D)児童養護施設入所児童、児童養護施設退所児童、自立支援施設児童、知的障害児施設、里子、被虐待児、及び保護者、学校職員、施設職員 (E)約60人</p>	7,701
<p>◇発達障害の子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業</p> <p>◆養育者の心理相談・育児支援事業</p>		<p>コンサルテーション支援</p>	<p>(A)2014年10月～継続中 (B)みくま幼稚園 児童養護施設四恩学園 (C)1人×2回</p>	<p>(D)施設職員 (E)延べ20人</p>	
		<p>◇心理療法及び発達相談サービスにかかる料金補助</p> <p>◆発達障害の子どもへの親へのコンサルテーションに対する支援</p>	<p>(A)2007年10月～継続中 (B) 御池心理療法センター/大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室/梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス) (C)17人</p>	<p>(D)発達障害をもつ子どもと養育者、学校職員 (E)約80人</p>	
		<p>キダーカウンセラーの派遣支援</p>	<p>(A)07年12月～継続中 (B) 対象となる幼稚園 (C) 2人×19回</p>	<p>(D)保護者、園児、保育士など (E)延べ約60人</p>	
<p>子どもの精神分析的な心理療法に関する啓蒙・広報活動事業</p>	<p>広報活動事業 メールマガジン、サポチル通信 ホームページ、会報、チラシ</p>	<p>(A)通年 (B)事務所 (C)8人</p>	<p>(D)会員・市民 (E)多数</p>	1,278	

	運営資金獲得事業 寄付金や助成金の獲得を 目指す	(A)通年 (B)事務所 (C)4人	(D)支援を受ける子ども及び養育者、 子どもの福祉に関わる 関係者など (E)多数	
精神分析的心理 療法に関する研究 活動事業	研究活動事業 精神分析研究会の研究・研修 活動の支援	(A)10回 (B)御池心理療法センター /オンライン (C)3人	(D)心理療法の専門家 及び心理療法を学 ぶ学生 (E)述べ約30人	0

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。